

雲仙岳

概 況

火山活動に変化は認められず、静かな状態が続きました。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・ごく少量、噴煙高度の最高は 50m(4月:50m)で、特に異常は認められませんでした(図 1、図 4)。

地震・微動活動の状況

A型地震を 1回(4月:2回)観測しました(図 2、図 5、図 6)。B型地震、火山性微動、落石震動は観測していません(図 3)。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、雲仙岳測候所 - 田代原、雲仙岳測候所 - 垂木台地、田代原 - 垂木台地の各観測点間の基線長には火山活動に起因する変化はありません(図 8)。

火口や噴気地帯の状況

27~31日に火山機動調査観測を実施しました。昨年 12月2日と比べ、溶岩ドームの地熱地帯の状況や表面温度分布に大きな変化は見られませんでした(図 9、図 10)。

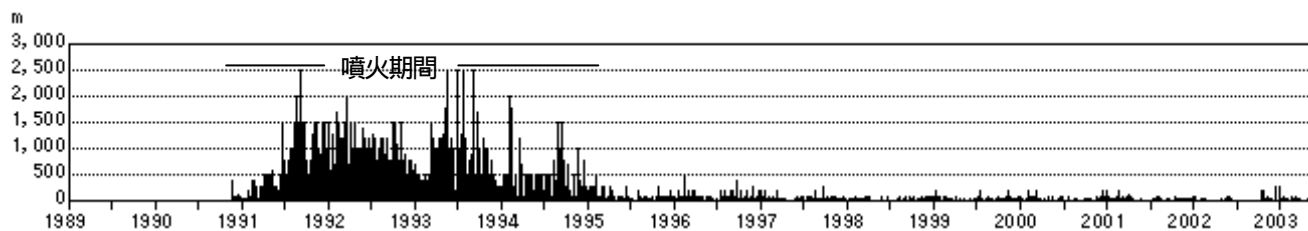


図1 日最高噴煙高度(1989年1月~2003年5月)

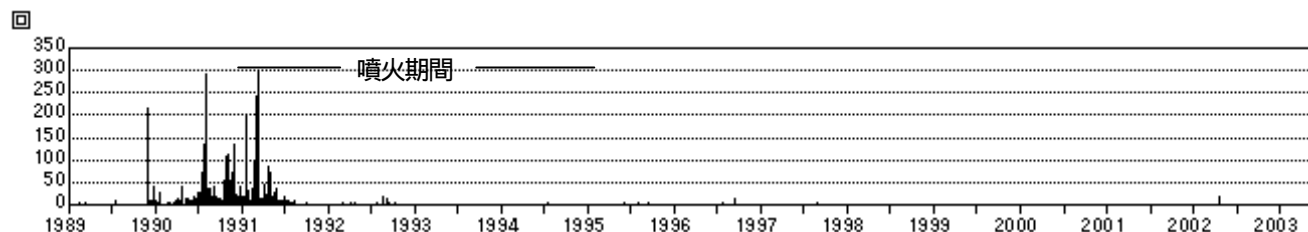


図2 A型地震日別回数(1989年1月~2003年5月)

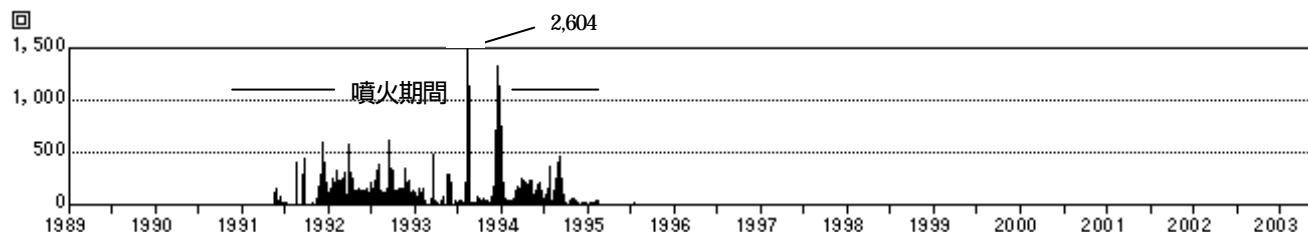


図3 B型地震日別回数(1989年1月~2003年5月)

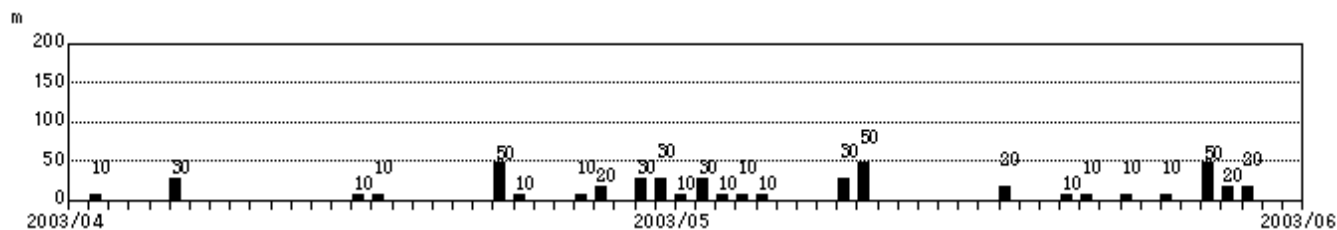


図4 日最高噴煙高度(2003年4月1日~5月31日)

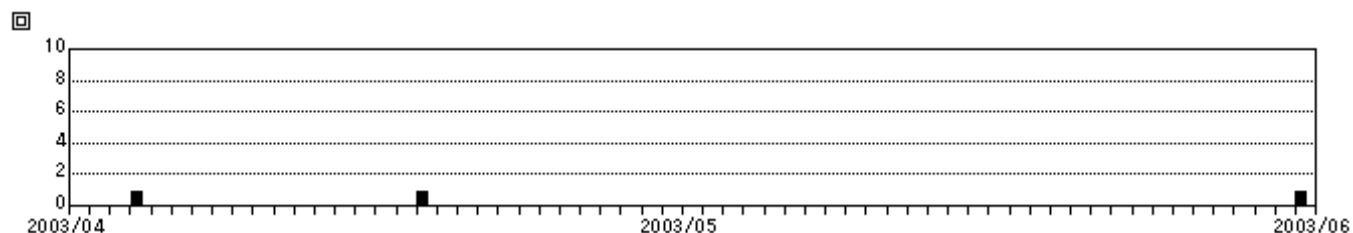


図5 A型地震日別回数(2003年4月1日~5月31日)

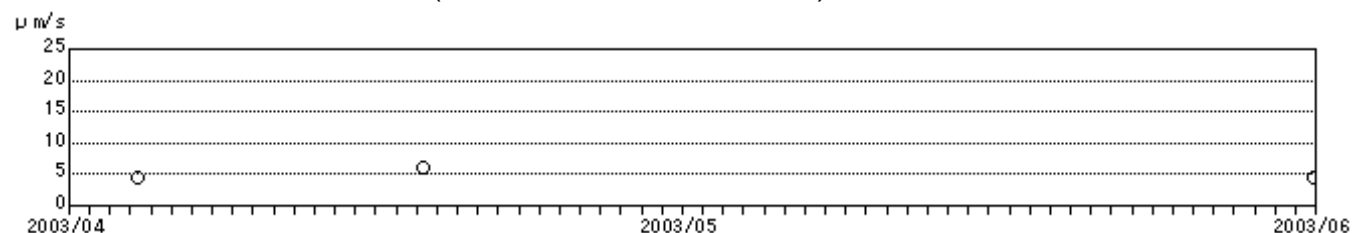


図6 A型地震の最大振幅(E点上下動)(2003年4月1日~5月31日)

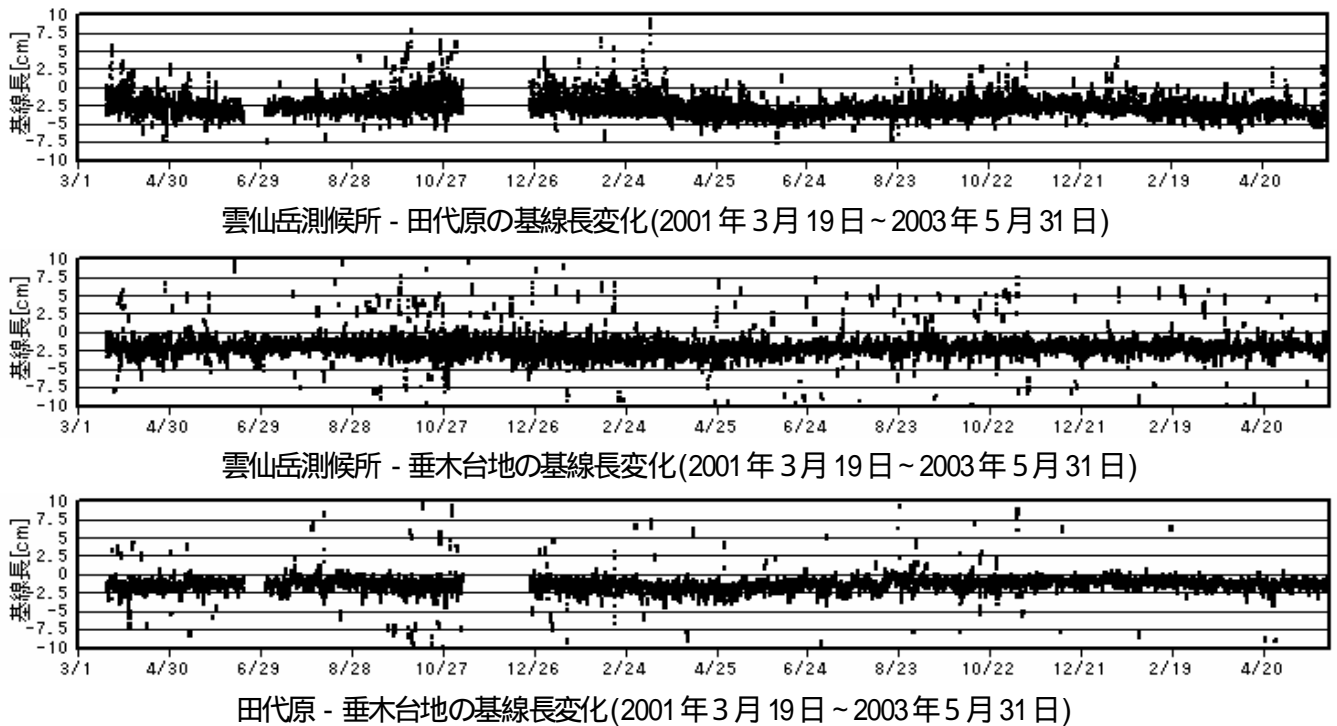


図7 GPSによる基線長変化

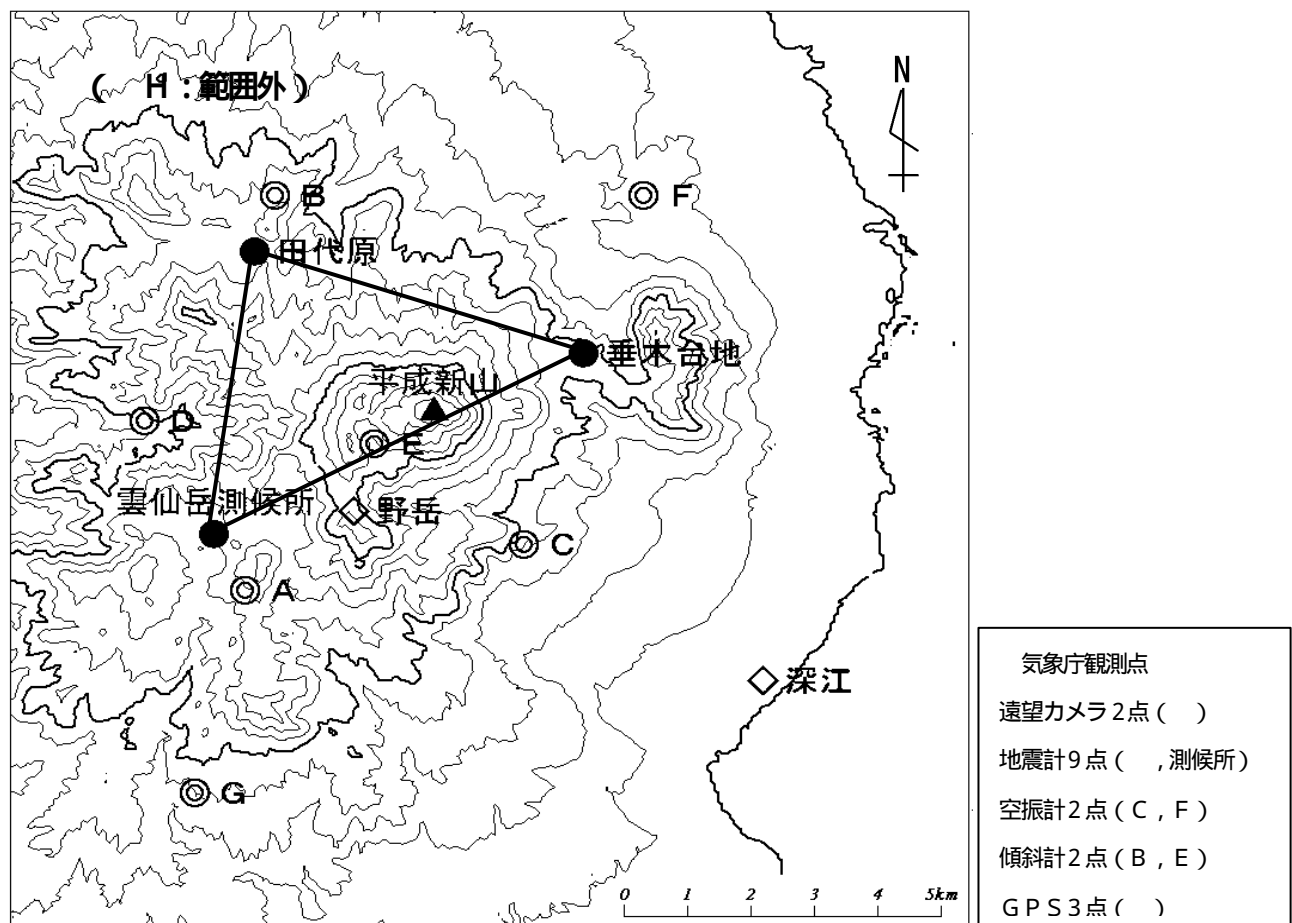


図8 観測点位置図

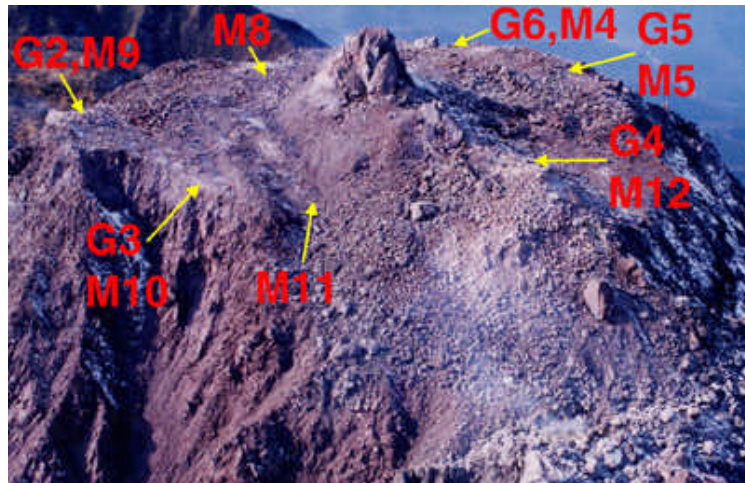
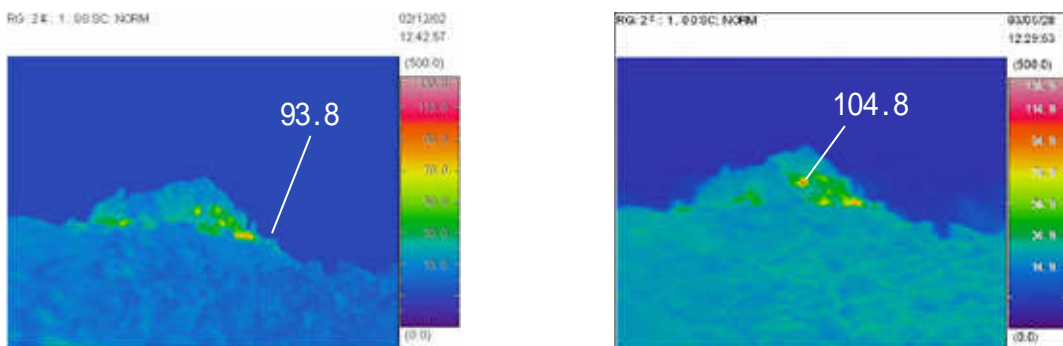
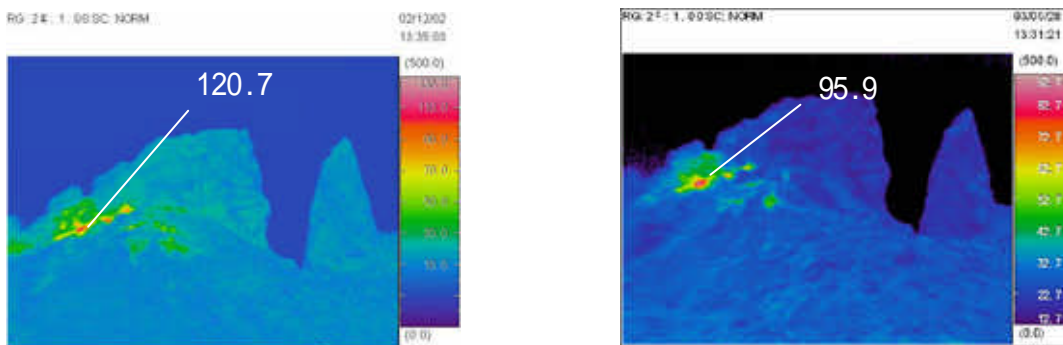


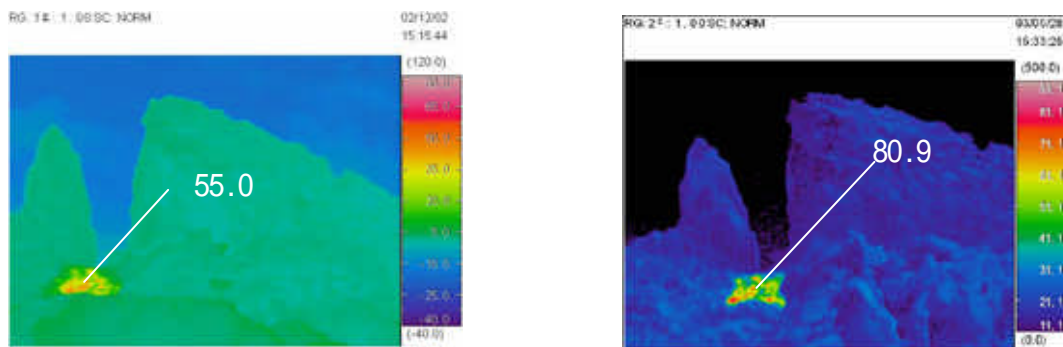
図9 溶岩ドーム(平成新山)の観測地点位置図



M 8 付近から南側を撮影(温度領域に変化は見られませんでした。)



M10 付近から北東側を撮影(温度領域に変化は見られませんが、最高温度はやや低かった。)



M 5 付近から南西側を撮影(温度領域に変化は見られませんが、最高温度はやや高かった。)

図 10 溶岩ドームの熱映像(左側 2002 年 12 月 2 日 右側 2003 年 5 月 28 日)